

Imaging Conference JAPAN 2010

未来を創る、イメージング技術の新世代へ

= 発表論文募集 Second Paper Call =

日本画像学会年次大会(通算第 105 回)“Imaging Conference JAPAN 2010”の講演募集締め切り 3 月 5 日が近づいてまいりました。皆様方からの積極的な申し込みをよろしくお願いたします。
日本画像学会では、最先端のイメージング領域に関する討論の場の提供を通じて、ハードコピーをはじめとする各種マーケティング技術、電子ペーパー/エレクトロニック・イメージングを代表とした新規イメージング技術、およびデジタルファブ리케이션技術を含む、実用技術ならびに基礎研究の発展に貢献いたします。これらの分野でご活躍中の多くの皆様が年次大会に参加され、日頃の研究成果の発表を通じて、イメージング技術の将来に向けた活発な討論と意見交換が行われることを期待いたします。

1. 会告

日時

2010 年 6 月 9 日(水), 10 日(木), 11 日(金)

会場

きゅりあん 品川区立総合区民会館
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1
(JR/東急線 大井町駅前)

討論形式

- 口頭発表あるいはインタラクティブ(ポスター発表)
- 2 会場によるパラレルセッション
- ・口頭発表: 一般講演: 20 分(発表 15 分、質疑 5 分)
- ・招待講演: 30 分(発表 25 分、質疑 5 分)
- セッション終了後オーサズインタビュー開催(約 20 分)
- ・インタラクティブ: 5 分間のショートプレゼンテーション(質疑なし) ポスター展示 120 分
- 当日会場にてベストポスター賞の審査、表彰を行います。

登壇資格

発表者は正会員または学生会員であること(招待講演者、海外発表者を除く)。但し、講演申込み時の入会にて発表者となることができます。

主催

日本画像学会

2. 年次大会の概要

テクニカルセッション

6 月 9 日(水)、6 月 10 日(木)、6 月 11 日(金)
キーノートスピーチ、招待講演、一般講演、受賞記念講演を行います。年次大会の中核となるセッションです。

ビジネスセッション

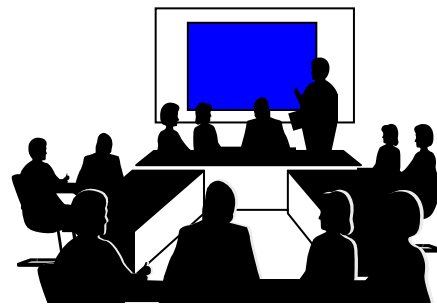
6 月 9 日(水) / 1F 小ホール
「画像はどこまで進化するか」をテーマに、感性工学的にみたよい画像、付加価値を高めた画像、将来のオフィスで望まれる画像、という 3 つの視点を盛り込んだ講演を企画中です。

実務の第一線で活躍されている中堅技術者(ミドルマネジメント)向け。

ワークショップ(新企画)

6 月 10 日(木)、6 月 11 日(金) / 6F 中会議室
先進的な技術テーマを取り上げ、小グループでのディ

スカッションを通して今後の発展の方策を探ります。ワークショップ企画案を別紙要領にて募集中です。



ワークショップ実施イメージ図

展示会

6 月 10 日(木)、6 月 11 日(金) / 7F イベントホール
画像技術、材料に関連する機器、デバイス、測定装置などの出展を企画しています。

懇親会

6 月 9 日(水) / 6F 大会議室
発表者との交流、情報交換の場です。

3. 研究発表募集分野

1. インクジェット
2. 電子写真
 - 電子写真プロセス/デバイス、感光体/現像剤および関連材料、用紙搬送/高精度駆動技術 など
3. ダイレクトマーケティング
 - トナーマーケティング、サーマルプリント
4. 電子ペーパー/エレクトロニック・イメージング
 - 電子ペーパー、リライタブルマーケティングなど
5. デジタルファブ리케이션
6. 新規イメージング
7. 画像入力、画像処理 および ネットワーク
 - ドキュメント管理、ソリューション技術など
8. 画像基礎 および 計測・評価
9. 色・感性イメージング
10. 環境保全 および 省エネルギー関連技術
(詳細は、ICJ2010 ウェブページをご覧ください。)

4. 講演申し込み

イメージング分野に貢献する独創的な研究や技術開発の発表を募集いたします。講演形式は、口頭発表とインタラクティブ（ポスター発表）のいずれかをご希望ください。（口頭発表がインタラクティブかで優劣の差はございません。）

題目を「ICJ2010 講演申込」とし、下記必要事項をご記入の上、電子メールにてお申し込み下さい。受付確認メールおよび「予稿作成要領」が返信されます。

学会の ICJ2010 ウェブページに申し込みフォーム (EXCEL file) を掲載しておりますのでご利用下さい。

申し込み時必要事項

1. 講演題目（和文&英文）
2. 発表希望分野
3. 希望する講演方式（口頭発表、インタラクティブセッション）
4. 講演者氏名（和文&英文）
5. 年齢（2010年 年末時点）*1, 会員番号
6. 所属（和文&英文）
7. 連絡先の住所、電話番号、FAX, e-mail
8. 共著者の氏名および所属（和文&英文）
9. 講演の概要(300字以内)

*1: 2010年 12月 31日時点で満 40歳未満の方は 2010年度研究奨励賞審査の対象となります。

講演申込み先

event@isj-imaging.org

講演申し込み締め切り

2010年 3月 5日(金)

5. 予稿原稿について

予稿原稿作成支援のためのテンプレート(MS Word)を準備しておりますので、ご利用下さい。

予稿集は、発表者から提出された原稿の PDF ファイルを元に、モノクロにてオフセット印刷により作成しますが、CD-ROM 版予稿集にはカラー原稿のまま収録することができます。

PDF 化の要領につきましては、予稿作成要領をご参照ください。原稿の品質確保のため、Press Quality を推奨し、Smallest File Size は不可とします。文字化けやレイアウトのズレなどの事故に対処するため、**原稿の WORD ファイルと PDF ファイルを格納した CD-R、およびモノクロ原稿 1部**を学会事務局へ期日までにご送付願います。

予稿集用原稿締め切り

2010年 4月 14日(水) 必着

6. 展示会

会期中、昨年に引き続き、画像技術、材料に関連しての展示会を開催いたします。

ただ今、出展企業の募集を行っております。多くのイメージング関連企業様にご出展いただけますよう、ご検討の程、宜しく申し上げます。

申し込み方法等の詳細は、学会の ICJ2010 ウェブページをご覧ください。

7. お問い合わせ

ICJ2010 に関する最新情報を、学会ホームページに掲載いたしておりますのでご覧下さい。

日本画像学会ホームページ

<http://www.isj-imaging.org/isj.html>

ICJ2010 ウェブページ

http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2010/ICJ2010_info.html

事務局

〒164-8678

東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内

日本画像学会 年次大会 係

Tel: 03-3373-9576 Fax:03-3372-4414

e-mail でのお問い合わせ

ICJ2010 について event@isj-imaging.org

画像学会について info@isj-imaging.org

8. 実行委員会

実行委員長

杉山 高司(コニカミノルタホールディングス)

実行副委員長

岡 建樹(コニカミノルタビジネステクノロジーズ)

洪 博哲(コニカミノルタテクノロジーセンター)

実行委員

石井 洋(シャープ)、今井 力(リコー)、岩橋 晴男(エカミルビジュアルテクノロジー)、大西 勝(マキエジコアリング)、岡田 真和(エカミルビジュアルテクノロジー)、北久保 茂(日本工業大学)、小森 智裕(沖データ)、酒井 真理(セイコーエプソン)、佐藤 利文(東京工芸大学)、正道寺 勉(日本工業大学)、竹内 達夫(キヤノン)、竹内 寛(コニカミノルタIJ)、武田 有介(リコー)、辰巳 節次(富士フィルム)、時松 宏行(エカミルビジュアルテクノロジー)、時吉 智文(王子製紙)、朝武 敦(コニカミノルタIJ)、中尾 英之(東芝)、中島 一浩(キヤノン)、永田 健二(キヤノンファインテック)、長山 智男(リコー)、夏原 敏哉(エカミルビジュアルテクノロジー)、西 真一(コニカミノルタIJ)、服部 好弘(エカミルビジュアルテクノロジー)、林 健司(エカミルビジュアルテクノロジー)、半那 純一(東京工業大学)、藤井 章照(三菱化学)、藤井 雅彦(富士ゼロックス)、星野 勝義(千葉大学)、星野 担之(日本工業大学)、堀田 吉彦(リコー)、松木 眞(NTTクオリス)、校條 健(キヤノン)、山崎 弘(エカミルビジュアルテクノロジー)、渡邊 猛(東芝テック)、渡辺 靖晃(富士ゼロックス)

コンファレンス委員長

阿部 隆夫(信州大学)

技術委員長

面谷 信(東海大学)

運営委員長

中居 仁司(ブラザー工業)

日本画像学会会長

平倉 浩治(リコー)

アドバイザー

北村 孝司(千葉大学)、木村 正利(富士ゼロックス)

日本画像学会事務局長

緒方 信康